



南高

律・啓・創

6月号

進路だより

HOP!

STEP!

JUMP!

平成27年6月1日
福島南高・進路指導部

6月の行事予定

1日(月)	衣替え 企業訪問開始	19日(金)	3年進研総合学力マーク6月(～20日)
2日(火)	第1回あいさつ運動 第2回交通安全指導(～3日)	21日(日)	仏語検定 全商珠算・電卓検定
4日(木)	服装頭髪指導	24日(水)	前期スポーツ大会(～25日)
5日(金)	第1回英語検定	26日(金)	KGGS姉妹校交流(～7月10日)
11日(木)	前期中間考査(～16日)	27日(土)	3年看護医療模試 3年公務員模試
12日(金)	1学年保護者会	28日(日)	全商簿記実務検定
14日(日)	日商簿記検定	7/1(水)	求人票受付開始

センター試験 1月16日まで
・・・あと**229日**

就職試験開始9月16日まで
・・・あと**108日**

いよいよ、6月11日からは前期中間考査、そして、3年生はマーク模試があり、7月には全学年記述模試が予定されている。それぞれの学年での試験の意味合いは違うかもしれないが、全力を尽くして、しっかり結果を出せることを期待する。

<1年生>

高校に入学して初めての定期考査である。中学校時代と違い、4日間毎日2～3教科ずつ試験がある。しかし、時間に余裕があると思ったら大間違いである。本校は前期後期制であり、試験範囲が3期制の学校より長くなる。しっかり準備をして考査に臨まなければならない。毎年、3年生になり1年～2年の成績を後悔するものが多数出る。まだ高校最初の試験である。今からしっかりと学習に取り組み、3年生で後悔する必要もなく、自分の進路の幅が広がることは間違いない。

<2年生>

毎年2年生は中だるみすると言われている。学習内容も難しくなり、一層真剣に学習に取り組まなければならないはずの2年生で学力が下がると、3年生で挽回するのが大変である。この2年生の間で下がらなければ未来は拓けてくる。さて、自分は中だるみしているかしていないか自覚しているだろうか。本人が自覚していないことが一番危険である。

<3年生>

大事な試験であるが、特にAO・推薦・就職等を考えている者にとっては、本当に大事な試験である。直前には県大会など部活動等の行事がある。この進路だよりを手にしたときにはもう10日前である。4月号に書いた通り、部活動と並行してしっかりと学習してきただろうか？それとも部活動で忙しいことを理由に勉強を先延ばししてきただろうか？いずれにしても時間は刻一刻となくなっていく。教室の雰囲気はどうだろうか？朝や放課後は自分の教室は勉強できる空間となっているだろうか？

3年生はもう知っていることですが、改めて今年の流れを載せておきます。また、1～2年生は3年生になったときのために見ておきましょう。

平成27年度 進学・就職関係日程

	進 学	就職・公務員
4月	3学年・進路指導部打合せ 進路希望調査① 3学年LHR(進路ガイダンス) PTA総会分科会(進学・就職)	公務員ガイダンス
5月	出願用個人写真撮影(アルバム用と一緒に・冬服) 二者面談 (5/11～24)	出願用個人写真撮影(アルバム用と一緒に) 二者面談 (5/11～24) 就職打合せ
6月	センター試験出願予定者数調査 センター試験受験案内請求	就職・公務員ガイダンス(6/8) 願書取寄せ(各自) (*国家Ⅲ種・県職員願書取寄せは進路) 公務員試験出願(15以降 各自)
7月	小論文ガイダンス(7/9) →*『申込書(仮)』提出→ 分野別指導 指定校一覧・仮掲示(夏休み直前LHRで仮掲示) 三者面談 ・・・志望校絞り込み 個別指導(志願理由書など) * オープンキャンパス センター試験要項発表(～31)	求人票受付開始(7/1) 「公務員試験受験予定表」提出 三者面談 ・・・就職・公務員希望校絞り込み(～8月中旬) 就職塾参加 就職者課外(作文指導含む) 職場見学
8月	AO入試エントリー開始(8/1より) (生徒=「AO出願希望書」提出、担任=調査書準備) 指定校一覧・本掲示 *上級学校「推薦入学試験出願希望書」提出開始 *小論文「申込書」提出→担任	「就職推薦依頼申込書」(第4希望まで)提出 調査書依頼 ・出願用個人写真準備 → 第1回就職推薦会議(8/24) 「就職推薦願」提出 履歴書作成 (*福島・伊達市役所等申込み)
9月	センター試験受験案内取り寄せ(2日・学校で一括) 第1回進学推薦会議(9/1) 小論文講演会(9/11) 第2回進学推薦会議(9/24) センター試験出願ガイダンス(9/17)	就職関係書類発送(学校取りまとめ) 模擬面接・作文練習 就職試験開始(9/16～) 公務員試験開始(～) (就職推薦会議 第2回以降 随時)
10月	第3回進学推薦会議(国公立大学等) センター試験出願(上旬)? 学校とりまとめ 私・専門公募指定校推薦入試	公務員二次試験
11月	第4回進学推薦会議 国公立大学公募 推薦入試	(就職未決定者指導)
12月	*センター試験受験票確認 (看護医療一般入試指導) *私立大学「調査書発行願」提出 *センター利用入試出願開始(1～3月)	就職内定者講話
1月	*私立大学一般入試出願 センター試験(1/16土,17日) *センター試験自己採点(1/18) センターリサーチ→志望校検討会 二次試験出願のための面談 小論文講習会(1/22) *センター利用推薦入試(福大) 私大一般入試(下旬) 国公立大学二次試験出願(1/25～2/3)	
2月	自宅学習(2/1～) 国公立大学二次対策演習 国公立大学二次試験(前期2/25～)	就職内定者一覧作成
3月	卒業式(3/1) 公立大学二次試験(中期 2/8～) 国公立大学二次試験(後期 2/12～) 合格体験発表(3/18)	卒業式(3/1) 合格体験発表(3/18)

国公立大学 選抜要項発表(～7/31)・・・日程・定員・出題科目・時間・配点など

大学入試センター試験 受験案内配付(9月上旬～)

国公立大学 募集要項発表(～12/15)

私立大学・短期大学 選抜要項発表(6月～)・・・入試方式、入試科目

私立大学・短期大学募集要項配付(7月上旬～12月上旬)・・・出願、受験、合格後の手続き

自分の進路実現に向けて(蛭雪時代等より一部抜粋あり)

①高校の授業を最大限に生かす

入試対策で役立てたのは「授業」であるということが蛭雪時代のアンケート結果からも言えるようだ。やはりすべての基本は「授業」にある。授業をおろそかにした者にいい結果は出ない。授業を大切にし、足りない部分は自分の家庭学習時を使う。英語・国語は予習中心、数学・理科・社会は復習に力を入れる傾向が強い。英語は単語・英文の内容把握、国語は古典の現代語訳などの予習をして、疑問点や理解できなかったところを洗い出しておき、授業で理解することに集中し、復習で定着させる。一方、数学・理科・社会は、授業を集中して聞き、学習したことをその日のうちに定着させるのが効果的。授業のポイントを理解できているか確かめるために問題演習する。また、授業後の勉強した場所は学校の自習室が1位で、自宅・塾が2位タイ、高校の図書館が4位である。やはりわからないことがあるときにすぐに先生に聞くことができる学校が一番なようである。

また、高校の授業中にノートはどう書いた先輩が多いかという「必要な事柄を加えながらすべてを書き写した」約が80%であった。先生の話すポイントや補足を書き加えるために「とにかく早く書く」と「顔を上げて先生の話聞く時間をできるだけ長くする」などといった工夫例も。

- よいノート
- 繰り返し見て復習することを前提に作成
 - 同じ間違いを繰り返さないよう工夫
 - 見返して、頭の中で授業を再現できる
 - テーマを持ってまとめられている
 - 正しい(間違っ)た)思考の過程をたどれる 等

- ダメなノート
- 見返さない、見返す気にならない
 - きれいに書くことに時間を消費
 - 板書・模範解答だけを丸写しただけ
 - 思考や工夫が伴わない
 - 余白がなく文字をびっしりと書く
 - 弱点や過去の間違いに気がつかない 等

②模試を活用する

1～2年生は今年最初の模試が7月に行われる。また、3年生は6月マークから毎月模試が行われ、10月にピークを迎える。3年生の今の時期の模試の志望校の判定で一番多かったのはE判定であり、E～C判定で8割を占める。つまりA～B判定は2割しかないのである。もちろん不安になるだろうが、自分の今の実力がわかればいので判定のみで一喜一憂しない。それよりもやるべきことはある。模試の復習をするかしないかで学力が伸びるかが変わるといっても過言ではない。学年を問わず、模試の復習をして、できなかった問題を確実に解けるようにする。データによると5割の人が模試を受けたその日に復習をしている。ほとんどの人が1週間以内に復習しているというデータから、遅くとも1週間以内の記憶が新鮮なうちに解答解説を使って復習する。特に現

役生はまだ習っていない問題が出されることもある。解説を読んでも理解できないかもしれない。だから中には「模試を受けて数日後に1回、次の模試の直前、間違えた問題を覚えるまで」など数回復習した人もいる。ちゃんと模試の問題と解説を保存しておき、習った後にもう一度復習するといいのではないか。なんといっても模試の解答解説を有効利用することが大切である。そして、自分の弱点をあぶり出し、1～2年生は夏休みに弱点を重点的に勉強するとよい。さて、2～3年生は今までの模試問題と解説を保存してあるか？

模擬試験受験の際に気をつけてもらいたいことが1つある。学校で受けることが多いため、慣れた教室、周りには知っている顔、定期考査ほどの緊張感がないだろう。帰りにはどこかに遊びに行く可能性もある。それでは模試当日に復習はできない。当たり前なことだが、本番の入試は、自分の学校で行われるわけもなく、周りに知り合いがいるとは限らない。当たり前なことだが本番を想定して、定期考査同様の緊張感を持って模擬試験を行い、その日のうちに復習する習慣をつけよう。ちなみにわからなかった問題が多く生徒がまずは自分で教科書や参考書で調べ、それでもわからなかったことは先生に質問をしているようである。

また、記述模試を受験し、答案を作成する際に押さえておきたい点についてである。

国語：1字1画丁寧に書くこと

理由を問われているときの文末は「～から」や「ので」

「何か」を問われたら「～こと」など

「本文より抜き出せ」に本文以外の言葉を使わない

文字数制限がある場合には8割以上書くこと

数学：どう考えて答えを出したのかを必ず書き、最後まで解けなくても消さない

「～より」「よって～」などの展開の理由や図を書くこと

使った公式はしっかりと書いて、途中の計算式を省略しすぎない

フリーハンドでできる限り正確な図を書く(普段から練習しておく)

英語：「hとn」や「vとr」など紛らわしい文字は丁寧にはっきりと書くこと

設問の指示・答え方の指示を見落とさずにしっかりと読んで答える

和訳はわかるところまででも書いてみる

全体：答案は「人に見てもらおうもの」という意識を持ち、丁寧な文字で書くこと

普段の学校の定期考査から意識して答案を作る

＜今年3月の卒業生の話＞

「学費の納入明細を親から見せてもらって愕然とした。それ以外にも実習費等必要な経費が掛かっているの
でトータルでは考えていた以上の額になっていることがわかり、楽しい学生生活を送るつもりではだめで、
しっかりと知識や資格を取るために頑張らなければならないことに改めて気づいた。そのために授業・講
義を今以上に真剣に受けようと決意しました。」

「管理栄養士を目指す学科は、理系なので、高校時代に基礎なしの化学と生物をしっかり勉強しておかない
と大変です。文系から来た人たちはかなり苦労しています。管理栄養士を希望するなら理系でないと厳し
いです。」(〇〇栄養学科では医療系でも家政生活系でも同様のようです)